

北陸電力グループ新中期経営計画＜2023～2027年度＞における財務目標の見直し

- ・今般、当社グループの「北陸電力グループ新中期経営計画＜2023～2027年度＞」（以下、「新中期経営計画」という）は折り返しを迎えました。
- ・新中期経営計画の成果や当初目標を上回る進捗を踏まえ、更なる企業価値の向上を目指す観点から、これまでの経営の3本柱等を堅持しつつ、財務目標を上方修正しました。
- ・今後も、新中期経営計画を推し進め、電力安定供給と脱炭素化という社会的要請へ対応し、北陸地域の復興・発展に貢献し続けてまいります。

財務目標見直しの概要

- ・2023年、安定供給維持と毀損した財務基盤回復を最優先とする新中期経営計画を公表。あわせて、経営の3本柱等と財務目標を設定。
- ・令和6年能登半島地震等による損失発生や、電気事業の競争激化など、経営を取り巻く環境は変化。

→ 経営効率化や事業領域拡大といった、**経営の3本柱等の取組みを強力に実行した結果、当初目標を上回る進捗。**

今回、新中期経営計画の骨格である**経営の3本柱等を堅持しながらも、取組みを一層強化し、よりチャレンジングな財務目標へ上方修正。**

経営の3本柱等

柱Ⅰ

安定供給確保と収支改善
および財務基盤強化

柱Ⅱ

地域と一体となった
脱炭素化の推進

柱Ⅲ

持続的成長に向けた
新事業領域の拡大

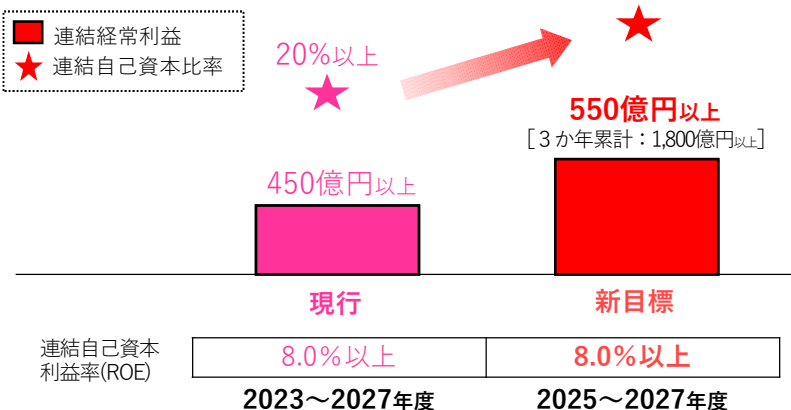
経営基盤を支える取組みの強化

	現行 (2023～2027年度)	新目標 (2025～2027年度)	考え方
連結 経常利益	450億円以上	単年： 550億円以上 [3か年累計：1,800億円以上]	電力安定供給と脱炭素化という社会的要請へ対応するとともに、北陸地域の復興・発展に貢献し続けるため、引き続き利益拡大および自己資本の拡充を目指す。
連結 自己資本比率 (2027年度末)	20%以上	25%以上	
連結自己資本 利益率(ROE)	8%以上	8%以上	資本効率を意識した経営を行う観点から、新目標の自己資本比率25%を達成する中でも、企業が求められる水準を確保。

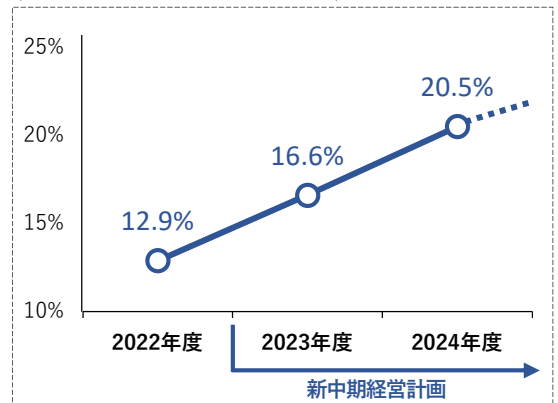
株主還元に関する方針

一定程度回復した自己資本比率を踏まえた『株主還元』および『財務基盤』の強化により、皆さまの期待にお応えし続けます。

< 新目標のイメージ >



(参考：連結自己資本比率の推移)



地域に根差した責任あるエネルギー事業者として、新たな目標を達成し、
未来志向で【Change】【Chance】【Challenge】の3Cの取組みをより一層推進してまいります。